

令和5年4月27日

関 係 各 位

公益社団法人 神奈川県薬剤師会
副会長 橋 本 真 也
(生涯学習委員会担当)

2023年度講師派遣研修会の共催団体募集について

平素より本会の運営につきまして、ご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、生涯学習委員会では昨年度に引き続きEBM研修会（基礎編）を始め次の3本の研修会を企画いたしました。

つきましては、本研修会を共催していただける研修事業実施団体の募集を次のとおり行います。

なお、複数の団体から応募が重なった場合は、生涯学習委員会 研修企画・運営小委員会において選考を行い、後日、結果をご連絡いたしますことを申し添えます。

1. 研修会名称：① “食べてうつ抜け”を実践！薬剤師だからできる栄養指導 基礎編
②EBM 研修会（基礎編）
③帯状疱疹の知識を深める研修会
2. 開 催 日 程：①2023年 7月23日（日） 14:00～15:50（正味90分）
②2023年10月29日（日） 13:00～16:20（正味180分）
③2023年11月26日（日） （正味90分）＊研修時間は共催団体と調整
3. 開 催 方 法：①、②web開催（配信会場は神奈川県総合薬事保健センター）
③対面（神奈川県総合薬事保健センター）
4. 募 集 人 数：①、②、③50名程度
5. 募 集 期 間：①2023年5月1日（月）～6月29日（木）
②2023年5月1日（月）～9月28日（木）
③2023年5月1日（月）～10月26日（木）

＊共催を希望される際には、別紙申請書により申請してください。

＊実施団体には、開催時の運営補助、受講者募集の呼び掛けをお願いいたします。

＊受講申込については、Webでの専用申込フォームを県薬でご用意いたします。

＊原則として費用は県薬が負担し、事前準備及び当日の運営は県薬が主体に行いますが、オンライン受講のための接続機器（PC等）及びインターネット環境は受講者各自でご用意のうえ接続料は各自でご負担ください。

＊当研修会には続編もございます。実施団体には次年度以降継続した開催を含めてご検討いただけましたら幸甚です。

(本件に関する問い合わせ)

事務局 神奈川県薬剤師会事業課

〒235-0007 神奈川県横浜市磯子区西町14番11号 TEL：045-761-3241 FAX：045-751-4460

2023 年度「“食べてうつ抜け”を実践！薬剤師だからできる栄養指導 基礎編」
研修会（B 依頼型） 開催申請書

（研修会名を記載）

年 月 日

公益社団法人 神奈川県薬剤師会
 会長 小 川 護 殿

申請者 団体名
 代表者氏名

印

このたび、下記の研修会を開催するにあたり、公益社団法人神奈川県薬剤師会研修会実施要綱に基づく開催申請について、関係書類を添えて申請します。

なお、申請関係書類に記載した個人情報については、公益社団法人神奈川県薬剤師会への提供・利用することについて承諾いたします。

（注）研修会プログラム（次第）を添付してください。

ふ り が な	
団 体 名	
所 在 地	
連 絡 先	TEL : FAX : E-MAIL :
申 請 担 当 者	氏名（ふりがな）： () 住 所 : TEL : FAX : E-MAIL :

研 修 会 名 称	「“食べてうつ抜け”を実践！薬剤師だからできる栄養指導 基礎編」研修会		
開 催 時 期 (頃 希 望)	2023 年 7 月 23 日 (日)		
開 催 時 間 (正 味 時 間)	14 時 00 分 ～ 15 時 50 分 (正味時間 90 分)		
開 催 時 間 内 訳 (研 修 会 時 間 配 分)	研修の次第タイムスケジュール等の記載をお願いいたします。 1、開会挨拶 (5 分) 2、「“食べてうつ抜け”を実践！薬剤師だからできる栄養指導」(90 分) 講師 奥平智之氏 (医療法人山口病院 副院長、日本栄養精神医学研究会 会長) ①うつ病の病態の基礎と薬物治療 ②栄養精神医学とは ③ “食べてうつ抜け” の実際 ④薬剤師に期待すること ⑤質疑応答 3、閉会挨拶 (5 分)		
開 催 会 場 等 ・ 集合研修 ・ Web 研修	会 場 名	web 開催	Web の場合 (・ Zoom ・ その他)
	所 在 地		

研修内容の詳細	研修の目的 薬剤師はうつ病をはじめ、多くの精神疾患の患者と接している。服薬指導を通して薬物治療の伴走をしているが、その中で薬を服用し続けることや、薬が増えていくことに対する不安の声が多く寄せられる。またうつ病などの診断はされていないがコロナ禍を経て、精神的な落ち込みを感じている人が増えている。栄養精神医学として病院で患者の治療にあたっている医師の講演で薬剤師だからできる栄養相談の知識を学び、日々の食事という基本的なことからうつ病などの精神疾患症状の改善を図るアドバイスができるようにすることで、さらなる精神疾患患者へのサポート力を高める。		
研修内容の詳細	到達目標（PS の SBO を参照。または、下記の到達目標例を参照。） ＊疾病の予防方法（食生活等）を適切に助言できる 内容の詳細について 250 文字程度で記載してください 日々の食事により精神疾患であるうつ病の症状改善を図ることができることを学び、薬剤師として栄養指導を行うことができるようになる		
研修形式 （複数回答可能）	☒ 講義 ・ SGD ・ 演習（ロールプレイ） ・ その他（ ）		
対 象 者	☒ 薬剤師 ・ 医師 ・ 看護師 ・ ケアマネジャー ・ その他（ ）		
プロフェッショナルスタンダード ※参考文献	PS 領域： 3 PS 領域：	受講単位： 1 単位 受講単位： 単位 合計 1 単位	
予 定 者 数	50 名		
利益相反申告	企業サポート 有 ・ ☒ 無 サポートの内容を○で囲む（ 会場 講師謝礼 司会者謝礼 食事代 ）		
研 修 会 情 報	公 開		
受講料の設定 （設定欄にチェック）	☒ 無料（会員・くすりと健康相談薬局勤務者で事前申込み者を含む） ☐ （ 一般： 3000 円） （県・市薬会員： 0 円）		

到達目標例 ・本研修において、医薬品の***について評価するために、@@@の役割について討議し、&&&を修得する。 ・薬剤師に求められる***の重要性を認識し、@@@の問題について討議し、&&&を説明できる。 ・保険、福祉、介護における***の意義について説明できる。 ・代表的な***の例について、その原因と@@@について討議し、&&&について自らの考えを述べるができる。 ・***の概念を理解し、@@@や&&&との関りについて考察する。
Key Words 知る。認識する。身につける。位置づける。理解する。判断する。応用する。結論する。参加する。価値を認める。考察する。など
プロフェッショナルスタンダード PS 領域 ※ (1) PS 1：ヒューマニズム（倫理） (2) PS 2：医薬品の適正使用（安全性、経済性） (3) PS 3：地域住民の健康増進（薬物乱用防止、セルフメディケーション） (4) PS 4：リスクマネジメント (5) PS 5：法律制度の遵守 ※公益社団法人日本薬剤師会「薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード（PS）」から

神奈川県薬剤師会 記入欄	受 付 日	年 月 日	整理番号	係員
	承 認 日	年 月 日		
	発 送 日	年 月 日		

2023 年度 **EBM研修会(基礎編) 研修会 (B 依頼型)** 開催申請書

(研修会名を記載)

年 月 日

公益社団法人 神奈川県薬剤師会
会長 小 川 護 殿申請者 団体名
代表者氏名

印

このたび、下記の研修会を開催するにあたり、公益社団法人神奈川県薬剤師会研修会実施要綱に基づく開催申請について、関係書類を添えて申請します。

なお、申請関係書類に記載した個人情報については、公益社団法人神奈川県薬剤師会への提供・利用することについて承諾いたします。

(注) 研修会プログラム (次第) を添付してください。

ふ り が な	
団 体 名	
所 在 地	
連 絡 先	TEL : FAX : E-MAIL :
申 請 担 当 者	氏名 (ふりがな) : () 住 所 : TEL : FAX : E-MAIL :

研 修 会 名 称	E B M 研修会 (基礎編)	
開 催 時 期 (頃 希 望)	2023 年 10 月 29 日 (日)	
開 催 時 間 (正 味 時 間)	13 時 00 分 ～ 16 時 20 分 (正味時間 180 分)	
開 催 時 間 内 訳 (研 修 会 時 間 配 分)	研修の次第タイムスケジュール等の記載をお願いいたします。 13:00～13:10 研修会注意事項 13:10～13:15 開会挨拶 13:15～16:15 講演・研修 「E B M の基礎を知って薬剤師の質を上げよう。一製薬会社の医療用医薬品製品情報概要 (製品説明パンフレット) の見方・使い方 (仮)」 講師 社会福祉法人聖母会 聖母病院 総合診療科 南郷栄秀 氏 横浜市立市民病院 感染管理室 五十嵐俊 氏 講演・研修内容 1) EBM とはどのようなものかを知る 2) 製薬会社の製品説明パンフの見方のポイントを理解する 3) 実際に製品説明パンフを批判的吟味してみる 4) 製薬会社との付き合い方を考える 16:15～16:20 閉会挨拶	
開 催 会 場 等 ・ 集合研修 ・ Web 研修	会 場 名	web 開催 Web の場合 (・ Zoom ・ その他)
	所 在 地	

研修内容の詳細	研修の目的 拠に基づく医療（EBM）は、より良い医療を提供するために必要である。薬剤師の情報提供において、患者や医療従事者への説明は科学的な根拠に基づくことが必要である。しかし、情報提供相手に合わせ、必要な情報を見極め、信頼性のある情報を得て、どう使用するかを考え、実践することは難しい。そこで、まずは根拠に基づく医療（EBM）の基礎を理解し、根拠となり得る情報とは何か？を製薬会社の医療用医薬品製品情報概要（製品説明パンフレット）の見方・使い方を中心に理解を深める。		
	到達目標（PSのSBOを参照。または、下記の到達目標例を参照。） 薬局薬剤師に必要なEBMの基礎知識を修得する。 ＊EBMの基本概念と有用性について説明できる。＊EBMの5ステップを説明できる。＊代表的な臨床研究法のエビデンスレベルを説明できる。＊臨床研究論文の批判的吟味のための基本的項目を列挙できる。		
研修内容の詳細	内容の詳細について250文字程度で記載してください EMBの5ステップ①患者にとって重要な臨床上の問題の定式化、②問題解決のための情報収集③得られた情報の批判的吟味、④情報の患者への適用、⑤①～④の評価について解説していただき、5ステップの中でも重要な③得られた情報の批判的吟味については日常業務で活用する製薬会社から提供される医療用医薬品製品情報概要（製品説明パンフレット）を題材にしてその見方、使い方を学びます。		
研修形式 （複数回答可能）	☒ 講義 ・ SGD ・ 演習（ロールプレイ） ・ その他（ ）		
対 象 者	☒ 薬剤師 ・ 医師 ・ 看護師 ・ ケアマネジャー ・ その他（ ）		
プロフェッショナルスタンダード ※参考文献	PS領域：2 PS領域：	受講単位：2単位 受講単位： 単位 合計 2単位	
予 定 者 数	50 名		
利益相反申告	企業サポート 有 ・ ☒ 無 サポートの内容を○で囲む（ 会場 講師謝礼 司会者謝礼 食事代 ）		
研 修 会 情 報	公 開		
受講料の設定 （設定欄にチェック）	☒ 無料（会員・くすり与健康相談薬局勤務者で事前申込み者を含む） ☐ （一般： 3000 円） （県・市薬会員： 0 円）		

到達目標例 ・本研修において、医薬品の***について評価するために、@@@の役割について討議し、&&&を修得する。 ・薬剤師に求められる***の重要性を認識し、@@@の問題について討議し、&&&を説明できる。 ・保険、福祉、介護における***の意義について説明できる。 ・代表的な***の例について、その原因と@@@@について討議し、&&&について自らの考えを述べるができる。 ・***の概念を理解し、@@@や&&&との関りについて考察する。
Key Words 知る。認識する。身につける。位置づける。理解する。判断する。応用する。結論する。参加する。価値を認める。考察する。など
プロフェッショナルスタンダード PS 領域 ※ (1) PS 1：ヒューマニズム（倫理） (2) PS 2：医薬品の適正使用（安全性、経済性） (3) PS 3：地域住民の健康増進（薬物乱用防止、セルフメディケーション） (4) PS 4：リスクマネジメント (5) PS 5：法律制度の遵守 ※公益社団法人日本薬剤師会「薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード（PS）」から

神奈川県薬剤師会 記入欄	受 付 日	年 月 日	整理番号	係員
	承 認 日	年 月 日		
	発 送 日	年 月 日		

2023 年度 带状疱疹の知識を深める 研修会（B 依頼型） 開催申請書

(研修会名を記載)

年 月 日

公益社団法人 神奈川県薬剤師会
会長 小 川 護 殿申請者 団体名
代表者氏名

印

このたび、下記の研修会を開催するにあたり、公益社団法人神奈川県薬剤師会研修会実施要綱に基づく開催申請について、関係書類を添えて申請します。

なお、申請関係書類に記載した個人情報については、公益社団法人神奈川県薬剤師会への提供・利用することについて承諾いたします。

(注) 研修会プログラム（次第）を添付してください。

ふ り が な	
団 体 名	
所 在 地	
連 絡 先	TEL : FAX : E-MAIL :
申 請 担 当 者	氏名（ふりがな） : () 住 所 : TEL : FAX : E-MAIL :

研 修 会 名 称	带状疱疹の知識を深める研修会		
開 催 時 期 (頃 希 望)	2023 年 11 月 26 日 (日)		
開 催 時 間 (正 味 時 間)	時 分 ～ 時 分 (正味時間 90 分) ※共催団体と調整後に決定		
開 催 時 間 内 訳 (研修会時間配分)	研修の次第タイムスケジュール等の記載をお願いいたします。 1. 開会挨拶 (5 分) 2. 带状疱疹の知識を深める研修会 (90 分) 講師 久保田智樹氏 (勝田台クリニック 院長) ・ 带状疱疹の基礎 (症状、原因) ・ 新型コロナウイルス感染との関係 ・ 薬物治療の実際 ・ 予防接種、予防について ・ 薬剤師に期待すること ・ 質疑応答 3. 閉会挨拶 (5 分)		
開 催 会 場 等 ・ 集合研修 ・ Web 研修	会 場 名	神奈川県総合薬事保健センター	Web の場合 (・ Zoom ・ その他)
	所 在 地	神奈川県横浜市磯子区西町 14-11	

研修内容の詳細	研修の目的 新型コロナウイルス感染症の影響で带状疱疹の患者が増えていると言われており、感染後は带状疱疹を発症する割合が高くなるとの報告もある。また TVCM でも带状疱疹予防接種について放送されており、高齢者を中心に関心が高まっている。薬局で患者さんへの服薬指導を通した治療完遂サポートとともに、予防に関するアドバイスを通して地域住民の健康増進を図る。		
	到達目標（PS の SBO を参照。または、下記の到達目標例を参照。） ＊ 带状疱疹の病態整理並びに代表的な治療薬の作用機序を説明できる ＊ 带状疱疹に関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療方針に沿った薬物療法を提案できる		
	内容の詳細について 250 文字程度で記載してください 带状疱疹の早期治療のための初期症状、症状の経過、後遺症、治療薬、予防方法を学び、患者への治療に活かす。		
研修形式 （複数回答可能）	☐ 講義 ・ SGD ・ 演習（ロールプレイ） ・ その他（ ）		
対 象 者	☐ 薬剤師 ・ 医師 ・ 看護師 ・ ケアマネジャー ・ その他（ ）		
プロフェッショナルスタンダード ※参考文献	PS 領域： 2 PS 領域：	受講単位： 1 単位 受講単位： 単位 合計 1 単位	
予 定 者 数	50 名		
利益相反申告	企業サポート 有 ・ ☐ 無 サポートの内容を○で囲む（ 会場 講師謝礼 司会者謝礼 食事代 ）		
研 修 会 情 報	公 開		
受講料の設定 （設定欄にチェック）	☒ 無料（会員・くすり与健康相談薬局勤務者で事前申込み者を含む） ☐ （一般： 3000 円） （県・市薬会員： 0 円）		

到達目標例 ・ 本研修において、医薬品の***について評価するために、@@@の役割について討議し、&&&を修得する。 ・ 薬剤師に求められる***の重要性を認識し、@@@の問題について討議し、&&&を説明できる。 ・ 保険、福祉、介護における***の意義について説明できる。 ・ 代表的な***の例について、その原因と@@@について討議し、&&&について自らの考えを述べる事ができる。 ・ ***の概念を理解し、@@@や&&&との関りについて考察する。
Key Words 知る。認識する。身につける。位置づける。理解する。判断する。応用する。結論する。参加する。価値を認める。考察する。など
プロフェッショナルスタンダード PS 領域 ※ (1) PS 1：ヒューマニズム（倫理） (2) PS 2：医薬品の適正使用（安全性、経済性） (3) PS 3：地域住民の健康増進（薬物乱用防止、セルフメディケーション） (4) PS 4：リスクマネジメント (5) PS 5：法律制度の遵守 ※公益社団法人日本薬剤師会「薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード（PS）」から

神奈川県薬剤師会 記入欄	受 付 日	年 月 日	整理番号	係員
	承 認 日	年 月 日		
	発 送 日	年 月 日		